

平成29年5月25日

「ディールウォッチ・アワード2016」及び「キャピタル・アイ・アワード2016」の受賞について

本市が、平成28年4月に発行した「北九州市平成28年度第1回公募公債（発行額100億円、10年債）」が、日本の資本市場のメディアを代表する2社から、次の2つの賞を受賞しました。

【受賞した賞】

- ディールウォッチ・アワード2016（トムソン・ロイター・マーケッツ株式会社）
地方債部門「Local Government Bond of the Year」
 - キャピタル・アイ・アワード2016（株式会社キャピタル・アイ）
地方債等部門「BEST DEAL OF 2016」
- ※いずれも、北九州市の受賞は初。

5月23日（火）には「ディールウォッチ・アワード2016」授賞式が東京都内で行われました。

【受賞理由】

超低金利下において、年度の最初に10年地方債で初めて絶対値プライシングを導入。その発行条件の決定プロセスを後続の自治体が追随し、地方債の安定消化及び債券市場に好影響を与えたとして、市場・投資家から高い評価を得て獲得。

【北九州市平成28年度第1回公募公債の概要】

条件決定日：平成28年4月6日 年 限：10年
発 行 額：100億円 表 面 利 率：0.080%
主 幹 事：野村証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券



(写真) ディールウォッチ・アワード2016授賞式

(問い合わせ先)
北九州市財政局財政課
担当 白石、吉本
TEL 582-2003

<参考>

市場公募地方債とは

都道府県・市町村など地方公共団体が発行する債券。
投資家へのヒアリング等を実施し、発行条件を決定する。

市場公募地方債の発行条件の決定方式について

決定方式	特徴
スプレッド・プライシング (通常の決定方式)	国債利回りを指標として投資家へのヒアリング等を行い、一定の利回り(スプレッド。例えば国債+0.145%など)を上乗せして発行条件を決定する方式。 金利の変動に対応できるため、広く一般的に採用されており、通常の決定方式である。 投資家が上乗せされる利回りで投資判断を行っている状況下(平時の環境)では、スムーズに投資家の需要を捕捉できる。
絶対値プライシング (本市が平成28年4月に導入した決定方式)	利率(絶対値)を設定(例えば0.08%~0.10%など)して投資家へのヒアリング等を行い、利率により発行条件を決定する方式。 投資家が最低でも確保したい絶対値をベースとして投資判断を行っている状況下(マイナス金利環境など)では、スムーズに投資家の需要を捕捉できる。 超低金利下ではメリットがある。